

# 伊勢河崎

# 商人館

## 水運で繁栄した伊勢の台所 河崎を見ずに「おかげまいり」の歴史は語れない

河崎を歩くと江戸時代に栄えた問屋街の面影が今も漂っている。通りに入れば、そこには時が止まったかのような空間が広がる。道端のおばあさんの笑顔があったかく感じるのはどうしてだろうか。

河崎は、江戸時代から昭和30年頃まで「伊勢の台所」として繁栄した水運の町だ。勢田川を利用し、伊勢神宮の参拝客の物資を全国各地から大量に運び込む大問屋街として賑わった。問屋街の対岸には伊勢の特産品を作る職人街があった。やがて道路や鉄道が発達して水上輸

送の需要は低下し、河崎からも徐々に人の姿が消えていったが、昭和49年の七夕水害後は住民による歴史を活かした町並みづくりが進められてきた。その拠点施設として平成14年に整備されたのが「伊勢河崎商人館」だ。江戸時代に創業され、国の登録有形文化財にも指定された酒問屋・小川商店を伊勢市が修復した建物を、NPO法人伊勢河崎まちづくり衆が運営している。商人館には母屋や蔵を利用した11の施設があり、このうち歴史・文化を紹介する「河崎まちなみ館」には、1600年頃に伊勢の山田で発行された日本で最初の紙幣・山田羽書や伊勢春慶の日常漆器が展示されている。「母屋」には茶室

や和室がそのまま残っており、縁側から眺める中庭の風情はこのうえない。また「老の蔵」「式の蔵」「参の蔵」にはアクセサリーや雑貨、特産品などが所狭しと並び、訪れる人を楽しませている。周囲には、昔ながらの商店、町屋や蔵を利用した古本屋や飲食店や雑貨屋などが軒を並べ、ここに住む人々の日常にすんなりと溶け込んでいる。地域の人々が誇りを持って暮らし、来訪者とのふれあいを大切にする河崎の町。どこか懐かしく、温かい。

### なるほど！コラム

**河崎伝統の町屋建築**  
崎には「切妻」・「妻入り」という独特のデザインをした町屋が多い。これは、伊勢神宮社殿の「平入り」に庶民が遠慮したからと言われる。屋根を見上げると、反り返った「そり」、盛り上がった「むくり」、まっすぐな「すぐ」など特徴ある形状があつておもしろい。土蔵の窓や出格子、刻み囲いも見逃せない。



小川商店出荷風景(明治末期)



現在の同じ場所

## 伊勢河崎 商人館

- 伊勢河崎商人館
- 伊勢市河崎2-25-32
- 電話 / 0596-22-4810
- FAX / 0596-22-4810
- URL / <http://www.e-net.or.jp/user/machisyu>



広域地図 127頁/C-2

- 交通 / JR・近鉄伊勢市駅または近鉄宇治山田駅より徒歩15分
- 駐車場 / 30台

### INFORMATION

#### 商家の母屋・蔵見学・学習 河崎まちなみ館見学・学習

昔ながらの町屋や商家の蔵を見学できるほか、江戸時代に伊勢の台所として栄えた河崎の歴史や文化も学習できる

- 時間 / 9:30~17:00
- 休み / 火曜日(祝休日の場合は翌日)
- 受入可能人数 / 50人まで
- 所要時間 / 60分
- 料金 / 大人300円、高大学生200円、小中学生100円
- その他 / 団体は事前予約要。地元ボランティアによる案内も可能(約60分・無料)。人数に限りがあるため、事前予約がお勧め

ご予約・お問い合わせ  
☎0596-22-4810



河崎・川の駅



商人倶楽部(大正末期の洋館の応接間)



人力車



04  
見学・学習



「そり」「むくり」と呼ばれる屋根